



地域医療連携ニュース



・集中治療科 教授昇任ご挨拶

・形成外科・口唇口蓋裂センターについて

・外来診療における肥満の自己注射治療

・産婦人科の取組み

集中治療科 教授昇任のご挨拶



集中治療科 診療科長
教授 佐藤 督忠

卒業大学

昭和医科大学

卒業年

1992年

専門分野

循環器集中治療、肺循環管理

資格

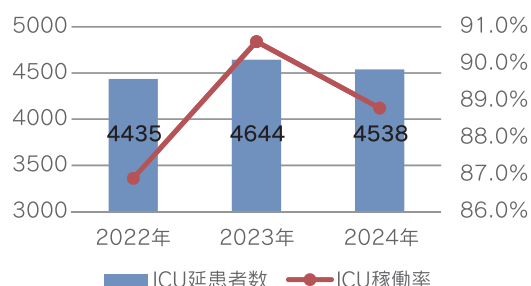
日本集中治療医学会指導医、日本救急医学会専門医、日本内科学会内科認定医、総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本救急医学会 ICLS ディレクター、日本内科学会 JMECC ディレクター、インフュージョンコントロールドクター (ICD)

この度、藤が丘病院集中治療科教授の拝命いたしました佐藤督忠(さとうとくただ)と申します。私は1997年に藤が丘病院循環器内科に入局し途中約6年間の救命センターへの出向期間を経た後2015年10月より冠疾患集中治療室(CCU)班の班長として集中治療室(ICU)において循環器救急患者、重症患者の治療にあたってきました。その際には他科のICU入室患者に関してコンサルトを受けることも多く、その甲斐あってか2022年には集中治療科准教授、診療科長に就任させて頂きました。それまでICUを包括的に診る科はなかったため、毎朝の全患者の多職種カンファレンス立ち上げや院内抗生剤適正使用支援チーム(AST)と連携して回診を行うなど組織の構築に勤しんでまいりました。また、集中治療学会専門医研修施設の認定を取得し、専門医/専門看護師をめざす後進の育成にも力を注ぎできました。現在、ICUの年間のべ患者数は4000人を超え、ベッド稼働率も約90%の状況下にあり、医師のみならず多職種のメディカルスタッフとチームで精力的に様々な重症患者の対応にあたっています。さらに、2023年からは品川区の本院より遠隔ICU監視システム(eICU)として24時間365日ICU患者の全身状態のモニタリングおよびコンサルティングサポートを受けており、より安全なICU管理を実現できていると自負しております。

さらに、当科は院内急変を未然に防ぐシステムであるRapid Response System(RRS)の体制を主導し、一般病棟の人工呼吸器装着患者をサポートするRespiratory Support Team(RST)の活動を並行して行っており、ICUのみならず病院全体の安全管理に尽力しています。

以上のように今後も集中治療室をはじめ藤が丘病院に入院した患者さんが安心、安全に病態が回復するよう全力で努めて参りたいと思っています。今後とも何卒、宜しくお願い申し上げます。

ICU延患者数とICU稼働率



形成外科・口唇口蓋裂センターについて

形成外科 助教 小島 康孝

昭和医科大学藤が丘病院形成外科では、体表面の外傷（広範囲熱傷を除く）、顔面外傷（顔面骨骨折を含む）、皮膚良性／悪性腫瘍の切除および再建、先天性疾患（顔面・四肢）、難治性潰瘍、炎症性疾患、瘢痕拘縮、顔面神経麻痺の再建、美容外科まで形成外科全般の診療を行っています。

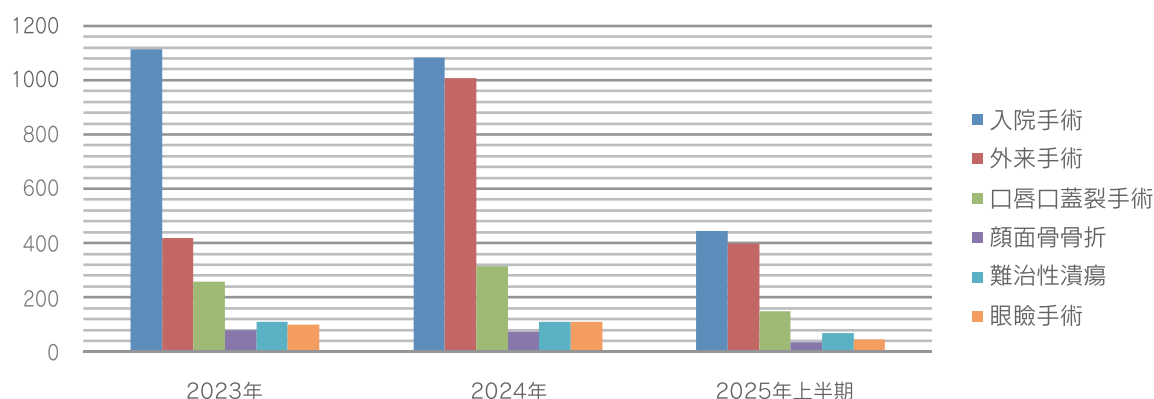


また、例年多くの入局者を受け入れており、経験豊富なスタッフ一丸となって診療に当たらせていただきますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



形成外科 診療科長
口唇口蓋裂センター センター長
教授 門松 香一

形成外科・口唇口蓋裂センター 症例件数



昭和医科大学口唇口蓋裂センター 年間150人以上の新規患者＝口唇口蓋裂児の約1/10！

昭和医科大学藤が丘病院形成外科の最大の特徴として、「昭和医科大学口唇口蓋裂センター」を中心としたチーム医療を実施しており、年間150人以上の新規患者（本邦で毎年生まれる口唇口蓋裂児の約1/10に相当し、国内随一）を診療しております。

昭和大学病院口唇口蓋裂センター

藤が丘病院

- ・形成外科
- ・耳鼻咽喉科
- ・小児科
- ・小児病棟
- ・麻酔科、手術室
- ・ICU
- ・栄養科
- ・ケースワーカー

歯科病院

- ・矯正歯科
- ・小児歯科
- ・口腔リハビリテーション科
- ・顎顔面口腔外科
- ・口腔衛生科
- ・高齢者歯科
- ・障がい者歯科

藤が丘 リハビリテーション病院

- ・言語聴覚士





外来診療における肥満症に対する自己注射治療について

内科（糖尿病・代謝・内分泌） 助教 橋詰 真衣

肥満は様々な健康障害を引き起こします。2型糖尿病・高血圧・脂質異常症等の発症に関わる危険因子であり、心血管疾患や特定のがんの発生リスクも高めることが知られています。現在国内では、「肥満症」治療薬として、GLP-1受容体作動薬であるセマグルチド（ウゴビー®）、GIP/GLP-1受容体作動薬であるチルゼパチド（ゼップバウンド®）の2剤の注射薬が使用可能となり、当院でも治療を開始しています。



上記2剤の保険診療における適応は、高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、①BMIが27kg/m²以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害を有する、または②BMIが35kg/m²以上のいずれかを満たす場合に限られます。なお2型糖尿病患者さんでは、同じ成分の注射薬（オゼンピック®、マンジャロ®）による治療も可能です。

重大な副作用として、低血糖症状や急性膵炎などが報告され、悪心・嘔吐・下痢・便秘・腹痛などの消化器症状も比較的高い頻度で認めます。一部の薬剤は、美容やダイエットなどの目的で、インターネット上などで販売されることもあるようですが、医師の適切な診療なしに処方を受けることは、非常に危険と言わざるを得ません。



食事・運動・行動療法からなる、従来の生活習慣改善療法が重要であることはいうまでもありません。しかし薬物療法は肥満症に対し有効な治療のひとつです。減量が困難で、薬物治療の適応がありそうな患者さんがおられましたら、ぜひ当院へのご紹介をご検討下さい。



産婦人科の取組みについて

藤が丘病院産婦人科は昭和医科大学病院・昭和医科大学横浜市北部病院・昭和医科大学江東豊洲病院と密な連携をとり、横浜市北部地域における中核病院の役割を果たしています。

悪性腫瘍症例数は非常に多く、当院では日本腫瘍学会専門医が6名在籍しており、手術療法、化学療法、放射線療法などの集学的治療が可能です。また腹腔鏡症例数は県内有数の施設です。2021年4月よりロボット



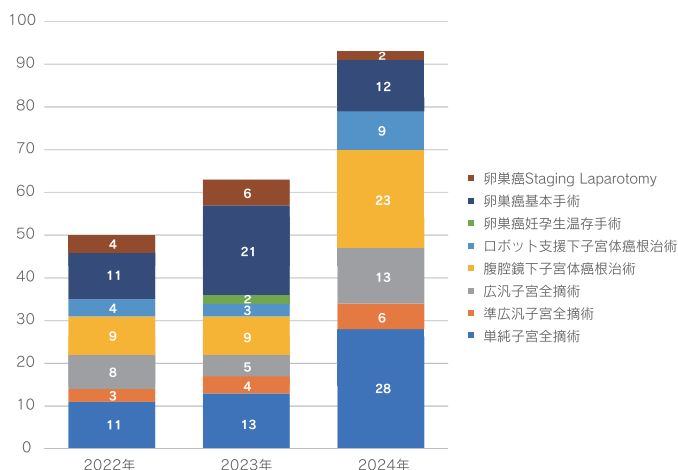
産婦人科 診療科長
教授 森岡 幹

支援下手術を導入し、初期子宮体癌、子宮筋腫、子宮腺筋症に手術

を行っています。近年ニーズが多岐にわたる遺伝カウンセリングに関しても、対象は出生前診断、遺伝形式の明らかな疾患、遺伝性乳がん卵巣がん症候群など腫瘍の分野についても対応可能な体制を整備しております。

今後とも昭和医科大学藤が丘病院産婦人科をよろしくお願いいたします。

悪性手術件数





患者さんのご紹介について

医療機関より当院に患者さんをご紹介いただく場合、下記 2 つの方法による予約が可能です。

※受付時間 月曜日～土曜日 8:30～17:00



電話で予約する：045-974-6571

- 上記医療機関専用電話回線へご連絡ください。
- 患者さんの情報等を確認させていただき、ご予約をお取りいたします。なお、当日のご予約はお取りしていませんので受診希望の方は上記お問合せ先にご連絡ください。



FAXで予約する：045-974-4325

- 「患者保険情報連絡票」を FAX 送信してください。「患者保険情報連絡票」は当院ホームページからダウンロードが可能です。
- 予約状況確認後、予約票兼連絡票を FAX いたしますので患者さんにお渡しください。
- 15分以上経過しても予約票兼連絡票が届かない場合、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。

当日の緊急性のある患者さんのご紹介について

緊急性のある紹介患者さんの受け入れについて、地域医療機関より地域医療連携室へご連絡ください。直接医師同士でお話しいただくことも可能ですので、必要な際はお申し付けください。

- 時間外 (17:00～翌 8:30)・日曜日・祝日・創立記念日 (11/15) は救命救急センターにつながります。



ホットラインについて

当院では 3 次救急に対応する救命救急センターの他に、心臓ホットライン、脳卒中ホットラインを設けております。緊急疾患が疑われる際はご活用ください。24 時間 365 日担当診療科医師が対応いたします。

急性心筋梗塞などの緊急疾患が疑われる場合

心臓ホットライン：070-5557-6035

脳卒中など緊急疾患が疑われる場合

脳卒中ホットライン：070-5015-3583



昭和医科大学
藤が丘病院

地域医療連携ニュース 7号 (2026年2月発行)
〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30
地域医療連携室 TEL: 045-974-6571 FAX: 045-974-4325



藤が丘病院

